



まちのわだい Town Topics

まちで行われたイベントや、学校・各種団体の活動などを紹介します

身近な情報をお待ちしています。
まちづくり振興課 広報くじ
担当 TEL52-2116 / FAX52-3653

リポーター 小倉利之リポーター (久慈・大川目担当)
紹介 梅沢政隆リポーター (夏井・侍浜担当)

広報リポーターの突撃取材!



活発な意見交換が行われました

地域の課題 意見を交換

大川目町まちづくり協議会は2月23日、町民など約40人が参加し地域課題懇談会を開催しました。参加者は身近なゴミ問題や文化・歴史の伝承などについて意見交換。懇親会では地元の特産品を話題に夜遅くまで交流を図りました。(小倉リポ)



子どもたちに優しく指導する菅野氏

アジアの覇者 菅野氏来久

ソフトテニスの全日本やアジア大会で優勝した菅野勝郎氏(陸前高田市)が3月16日に久慈市を訪問し、市民体育館でスポ少や市ソフトテニス協会会員ら52名とテニス教室で交流。受講者はわくわくしながら真剣に学びました。(梅沢リポ)

新天地への決意を力強く

自衛隊入隊予定者があいさつ

自衛隊に入隊予定の市出身者6人は2月19日、市役所を訪問。山内隆文市長に入隊に向けた思いと熱い決意を力強く語り、新天地での活躍を誓いました。山内市長は「震災時、現場の状況に応じた自衛隊の対応は素晴らしかった。皆さんも厳しい訓練を乗り越え、大きく成長することを期待しています」とエールを送りました。

入隊予定者の種目と氏名は次のとおりです。(敬称略)◇一般曹候補生…下館利哉(久慈高)◇自衛官候補生…谷崎真紀(久慈高)、鈴木亮(専門学校)、柳杭田守文(久慈東高)、林菜都紀(花巻東高)、清水頭静香(一般)



意欲に満ちた表情で拳を掲げる入隊予定者



1/目当ての毛ガニを受け取り思わず笑顔
2/出た目の数だけ毛ガニをもらえる「毛ガニ争奪!サイコロゲーム」
3/温かい毛ガニ汁は子どもたちにも好評

毛ガニ目当てに大勢

北三陸くじ冬の市に2千人来場

2月23日、今年度最後となる第4回北三陸くじ冬の市(同実行委員会主催)が開催され、市民ら約2千人が来場しました。小雪交じりの寒風が吹く中、10時の開始を前に詰めかけた来場者の目当ては冬の味覚「毛ガニ」。市漁業協同組合の協力で行われた格安販売では、大きさごとに分けられ地価より安い値が付けられました。販売が始まると来場者の前に並べられた約800匹の毛ガニは1時間とかからずに完売しました。購入した川原恵美子さん(夏井町)は「9時半頃から並んでやっと購入しました。大きいものは贈答用に、小さいものは自宅でいただきます」と満足した様子でした。

11時からは、毛ガニ汁の格安販売も実施。うま味がぎゅっと詰まった温かい一杯を求め行列ができました。買い求めた人たちは皆笑顔で味わっていました。

海女の歴史、正しい知識で

「北限の海女 今昔」発行

北限の海女の歴史や暮らし、新聞掲載された情報などをまとめた冊子「北限の海女 今昔」が3月11日に発行。編集委員の黒沼忠雄さんは「ドラマの放送を機に、100年の歴史を持つ海女の正しい知識を伝えたい」と発刊への思いを話しました。同書は市内の書店などで販売中です。



冊子をPRする編集委員の皆さん



交付後、機器の説明を聞く消防団員

迅速・確実な活動に意欲

消防車両交付式

3月7日、防災センターで消防車両交付式が行われ、市消防団4個分団に小型動力ポンプ付き積載車など各1台が交付されました。門ノ澤正浪団長は「迅速かつ確実な消防防災活動のため、さらなる訓練に努めます」と謝辞。団員らは装備などを確認し意欲をみなぎらせていました。

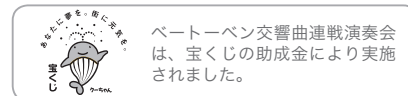
夢の協演でデビュー再現

ベートーベン演奏会

3月3日、市文化会館主催のベートーベン交響曲連戦演奏会を開催。仙台フィルハーモニー管弦楽団とNHK交響楽団のトップメンバー、岩手県出身のピアニスト佐藤彦大さんが、ベートーベンがデビューコンサートで演奏した4曲を再現。夢の協演が約400人の聴衆を魅了しました。



スクリーン上の説明で理解も深まりました



ベートーベン交響曲連戦演奏会は、宝くじの助成金により実施されました。

一年の集大成に達成感

吹奏楽クリニック発表会

久慈地域の吹奏楽のレベルアップと音楽普及のために開催された「アンバーホール吹奏楽クリニック」。2月24日、指導の成果を発表する吹奏楽祭がアンバーホールで開かれ、440人が来場。講師陣が奏でる美しいハーモニーや、息の合った各学校合同の演奏に会場から大きな拍手が送られました。



クリニックの成果を発表した合同演奏



茶色から緑色に変わるワカメに大興奮

きれいな緑色ワカメに驚き

地産地消ふれあい給食

地元食材を理解するふれあい給食は2月21日、久慈小学校で開催。児童たちはワカメを使った給食で生産者らと楽しく交流した後、食育やワカメの養殖などを体験も交えて学びました。桑田英寿くん(3年生)は「おいしかったし、熱湯できれいな緑色になることがわかりました」と驚いていました。